

平成22年度 事業計画

次世代エネルギー産業会議（略称：NEIF）

1. 事業実施の方針

- (1) 新エネルギー・水素や蓄電池を活用したビジネスおよび各種社会実験等の地域社会でのプロデュース
- (2) スマートグリッドおよびEV・PHVの導入・普及に関わる情報交流、地域社会への対応
- (3) 関連産業間、あるいは産学官・地域社会など各セクターの交流の促進
- (4) 基本的情報の調査と分析（分科会での情報提供）
- (5) 各国の関連プロジェクトや政策に関わる情報の共有化
- (6) 当該分野における国際協力の可能性の検討、国際共同プロジェクトの立案
- (7) シンポジウムやセミナー、展示会等の開催と出版物の発行
- (8) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2. 平成22年度活動方針

国内で進められているEV・PHVの導入・普及事業と共に、地域の社会システム全体を視野に入れつつ、多様なエネルギー媒体（水素をはじめ、電力、エタノール、バイオガス、合成燃料など）の利活用を地域社会と共にプロモートしていく。特に地域特有のエネルギー需要の視点を中心とした活動を行っていく。

3. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施頻度	実施予定場所
(1)情報交換	会議・講演会の開催 テーマ（案） ・EV・PHVなど電動車両の新展開 ・燃料電池の導入・普及を促進するための新たな地域の枠組みについて ・運輸部門（乗用車と共に貨物輸送に関わる車両）での水素・燃料電池の利用・促進 ・地域エネルギー資源を活用した産業創成	年3～4回	東京大学、 東京工業大学 他
(2)社会実証 事業の支援 (主に分科会活動として実施)	・地域エネルギー供給分科会において、自動車および家庭でのエネルギー需要の変革と地域エネルギー供給事業の検討を実施する。 <概要> ・「EV・PHVタウン構想」や「次世代エネルギーパーク構想」など地方自治体が主体的に構築するモデル事業の策定に対して情報提供を行うと共に関連する企業・学識者などの交流を促進する。	3～4回程度	(未定)
(3)施設見学	当会の研究テーマに関連する先進的な事業、施設の見学会を実施する。	1～2回程度	(未定)
(4)他の団体 への協力	当会議の開催内容に協賛頂ける団体、相互乗り入れを希望する団体との共同事業（会議、展示会への参加、セミナーへの協力、アナウンス等）	適宜 年5回程度	(未定)